「ニコン Z マウントシステム」対応の標準ズームレンズ「NIKKOR Z 28-75mm f/2.8」を発売

開放F値2.8一定ながら、小型・軽量と高いコストパフォーマンスを実現

株式会社ニコン　2021年12月14日

株式会社ニコン（社長：馬立 稔和、東京都港区）の子会社、株式会社ニコンイメージングジャパン（社長：北端 秀行、東京都港区）は、「ニコン Z マウント」を採用したフルサイズ（ニコンFXフォーマット）ミラーレスカメラ対応の標準ズームレンズ「NIKKOR Z 28-75mm f/2.8」を発売します。

「NIKKOR Z 28-75mm f/2.8」は、広角28mmから中望遠の75mmまでの使いやすい標準域の焦点距離範囲を、明るい開放F値2.8一定でカバーする標準ズームレンズです。質量約565gの軽量ボディーを実現し、開放F値2.8一定でありながらもカバンなどに収納しやすく、携行性が高い小型・軽量設計が特長です。

開放F値2.8ならではの大きく自然なボケ表現を活かした撮影や、光量の少ない場所での高画質な撮影が可能。日常のスナップからポートレー

ト、風景まで、幅広い撮影シーンと被写体に対応します。絞り値を変えることで、柔らかな描写からシャープな描写まで写りの変化を楽しむことができ、静止画・動画問わず、多彩な表現を1本のレンズで実現することができます。

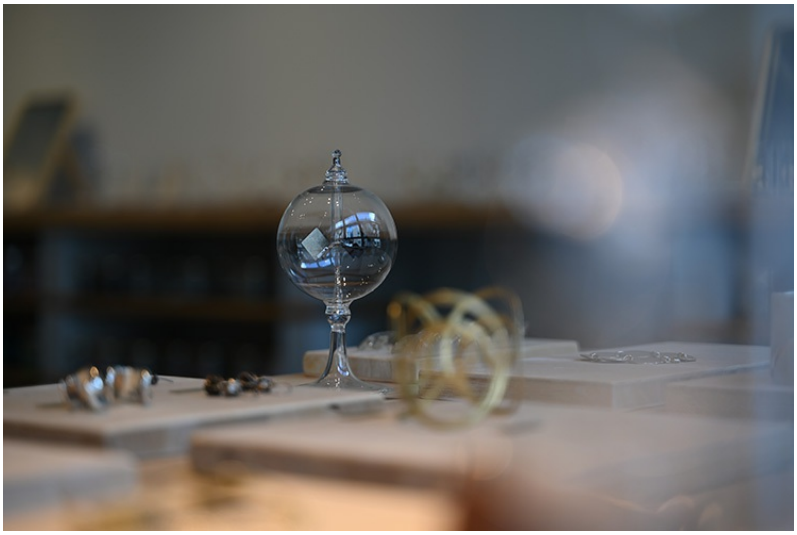
「NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S」（2019年4月発売）と比較して、より手の届きやすい価格設定に加え、より小型・軽量ボディーを実現しました。プロフェッショナルやハイアマチュアに限らず、開放F値2.8の明るさで表現の幅を広げたいフォトグラファーに対しても、新しい表現をサポートします。

ニコンは、今後も新次元の光学性能を追求し、ユーザーのニーズに応えていきます。そして、映像表現の可能性をさらに拡げることを目指し、映像文化の発展に貢献します。

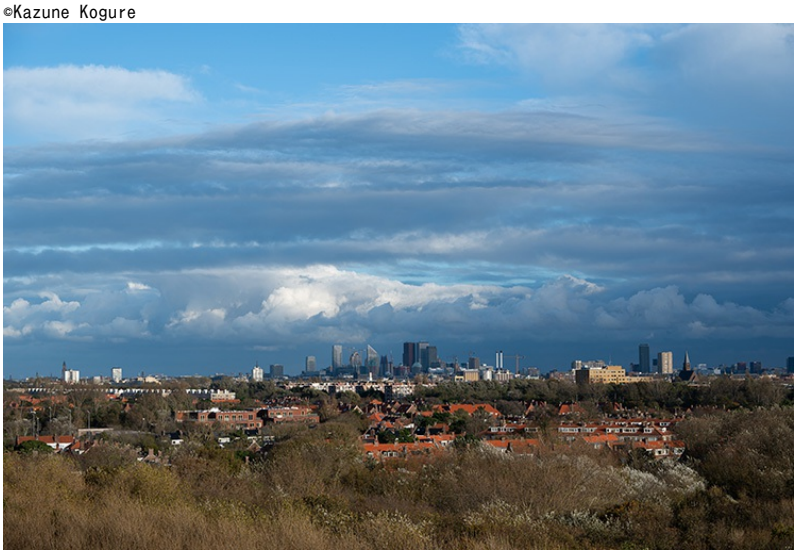
発売概要

商品名	「NIKKOR Z 28-75mm f/2.8」
希望小売価格	¥140,800（税別 ¥128,000）
発売時期	2022年2月予定

日本での予約販売受付は、12月16日10時より開始します。



©Kazune Kogure



©Naomi Rader

主な特長

ズーミングによる露出変動がない、焦点距離範囲全域f/2.8一定の開放F値

焦点距離28mmから75mmまでをカバーし、スナップからポートレート、風景まで幅広い撮影シーンや被写体に対応

全長約120.5mm、質量約565gの小型・軽量ボディーで優れた携行性を実現

最短撮影距離は広角端で0.19mのため、被写体に近づいたダイナミックな撮影が可能

ズーム全域で安定した解像力を発揮

フォーカス時の画角変化（フォーカスブリージング）の低減や、露出の安定化など動画撮影に配慮した設計

絞り値や露出補正などの機能の割り当てができ、静粛で滑らかな操作が可能な「コントロールリング」を搭載

静粛性とレスポンスに優れた「STM（ステッピングモーター）」を採用し、静止画、動画を問わず快適なAF駆動を実現

高精度な絞り制御ができる電磁絞り機構を搭載

防塵・防滴に配慮した設計※とレンズ最前面には防汚効果のあるコーティングを採用

※すべての条件で完全な防塵・防滴を保証するものではありません。

主な仕様

マウント	ニコン Z マウント
焦点距離	28mm-75mm
最大口径比	1:2.8
レンズ構成	12群15枚（スーパーEDレンズ1枚、EDレンズ1枚、非球面レンズ3枚）
画角	75°-32°10'（撮像範囲 FX） 53°-21°20'（撮像範囲 DX）
寸法	約75mm（最大径）×120.5mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで）
質量	約565g

関連リンク

映像関連製品：ニコンイメージング ホームページ

https://www.nikon-image.com/

※こちらに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。販売が既に終了している製品や、組織の変更等、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。